

『秋の踏切事故防止キャンペーン』を実施します！

JR北海道では、平成25年秋の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため9月21日から「秋の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどをPRして参ります。

また、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園等、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

- 1 実施期間
平成25年9月21日（土）から9月30日（月）までの10日間
- 2 実施内容
 - ・ 踏切、駅頭でのリーフレット、ポケットティッシュの配布による協力要請
 - ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による協力要請
 - ・ 主要駅、列車内での業務用放送による協力要請
 - ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
 - ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問し啓発活動の協力要請
- 3 実施計画
（別紙）釧路支社管内における踏切事故防止の啓発活動

〈平成25年度の踏切事故〉

JR北海道の8月末時点における踏切事故の発生件数は3件で、平成24年度同期より2件増加しています。今年度発生した事故は自動車と列車が衝撃した事故であり、その内2件は遮断機や警報機の無い踏切で発生し、自動車に同乗されていた方が亡くなられた事故も発生しています。そのほかにも無理な通行により、悲惨な事故に繋がりがねない事象が多数発生しています。

また、JR釧路支社管内においても警報機が鳴っている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ポールの折損は、8月末時点で19件発生しています。平成24年度同期と比較して4件増加し、依然として非常に多い件数が発生しています。

踏切手前での一旦停止と安全確認など、基本的な交通ルールを守ることが踏切事故をなくすためには、とても大切です。

(別紙)

釧路支社管内における踏切事故防止の啓発活動

各地区において踏切事故防止の啓発活動を行います。
啓発に際しては、鉄道警察隊や各地区のJR社員と合同で踏切事故防止キャンペーン用ポケットティッシュやリーフレットを配布し、JRご利用の皆様や踏切通行者の皆様に広く踏切事故防止のお願いを呼び掛けていきます。

帯 広 地 区	10号団地踏切(西帯広駅～帯広貨物駅間) 9月24日(火)11:00～11:30 ほか7踏切で啓発予定 (キャンペーン期間中)
釧 路 地 区	木工場踏切(釧路駅構内) 9月24日(火)10:30～11:00 ほか4踏切で啓発予定 (キャンペーン期間中)
厚 岸 ・ 根 室 地 区	大正踏切(東根室駅～根室駅間) 9月24日(火)13:30～14:00 ほか1踏切で啓発予定 (キャンペーン期間中)

※ なお、当日の天候等や移動時間により、一部予定を変更する場合があります。
※ 上記のほか各現業機関においても管内各踏切においてPR活動を実施します。